

## 大泉桜高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： （ なし ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【思考力、判断力、表現力等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【学びに向かう力、人間性等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

科目 体育 の目標：

| 【知識及び技能】                                                                                                            | 【思考力、判断力、表現力等】                                                                         | 【学びに向かう力、人間性等】                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。 |

|             | 単元の具体的な指導目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 指導項目・内容                                                               | 評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|----------|
| 1<br>学<br>期 | 男女共修<br>【知識・技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくりに運動の行い、体力の構築を促す。実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】 体づくりに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合うようにすること、一人一人の違いに応じた運動を大切にしようとするこ、合意形成に貢献しようとするこなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                                                                                                                                         | ・ラジオ体操<br>・体ほぐし運動のきづき<br>・アイズブレイク<br>・一人1台端末の活用 等                     | 【知識・技能】 リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすること、実施したと振り返りながら協力したりする運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすることができる。<br>【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合うことができる。                                                                                                                                                                                                                     | ○ | ○ | ○ | 2        |
|             | 男子<br>【知識・技能】 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようになる。<br>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアンプレイを大切にしようとするこ、合意形成に貢献しようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとするこ、互いに助け合い高め合うようにすることなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                                                                                                                                                                             | アルティメット<br>・ディスクの投げ方、キャッチの仕方<br>・ゲームの理解                               | 【知識・技能】 ・目標から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。<br>・シュートやトライをしたり、パスを受けたらするために味方が作り出した空間に移動することができる。<br>【思考・判断・表現・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。<br>・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。<br>・フェアンプレイを大切にしようとするこができる。                                                                                                                                                               | ○ | ○ | ○ | 4        |
|             | 男子<br>【知識・技能】 バレーボール【女子】 人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を学ぶことができる。<br>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作を連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。<br>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を、合理的な解決に向けて運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアンプレイを大切にしようとするこ、作戦などについて話し合いを積極しようにすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い高め合うようにすることなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                                            | ・基本的なパス<br>・スパイク<br>・サーブ<br>・ゲームの理解<br>・ゲーム<br>・一人1台端末の活用 等           | 次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。<br>【知識及び技能】 知識では、球技の各型の各項目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技術では、ボールを相手陣地のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でも、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】 球技の学習に主体的に取り組む、相手を尊重するなどのフェアンプレイを大切にしようとすること作戦などについての話し合いに貢献しようとするこができる。                                                   | ○ | ○ | ○ | 4        |
|             | 男女共修<br>【知識・技能】 短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやペースの安定して次走者や前走者の距離を長くすること、長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができるようになる。<br>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                                                                                                                                     | 陸上競技<br>・500m走<br>・1000m走、1500m走<br>・リレー                              | 【知識・技能】 ・高いスピードを維持して走る中間走では、体の真ん中にくた足を速に踏みだし、キックした足を素早く前に進んだらするなどの動きで走ることができる。<br>・最も速く走ることのできるペース配分に応じて動きを切り替えて走ることができる。<br>【思考・判断・表現】 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。<br>・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                | ○ | ○ | ○ | 4        |
|             | 男子<br>【知識・技能】 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようになる。<br>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアンプレイを大切にしようとするこ、合意形成に貢献しようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い高め合うようにすることなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                                                                                                                                                                           | フットサル<br>・インサイドキック<br>・ドリブル、シュート<br>・ゲームの理解<br>・ゲーム<br>・一人1台端末の活用 等   | 【知識・技能】 ・目標から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。<br>・シュートやトライをしたり、パスを受けたらするために味方が作り出した空間に移動することができる。<br>【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。<br>・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。<br>・フェアンプレイを大切にしようとするこができる。                                                                                                                                                             | ○ | ○ | ○ | 4        |
|             | 男子<br>【知識・技能】 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようになる。<br>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアンプレイを大切にしようとするこ、合意形成に貢献しようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い高め合うようにすることなどや、健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。                                                                                                                                                                                                           | ラグビーフットボール<br>・パス、ラン<br>・ゲームの理解<br>・ゲーム<br>・一人1台端末の活用 等               | 【知識・技能】 ・目標から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。<br>・シュートやトライをしたり、パスを受けたらするために味方が作り出した空間に移動することができる。<br>【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。<br>・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。<br>・フェアンプレイを大切にしようとするこができる。                                                                                                                                                             | ○ | ○ | ○ | 5        |
|             | 男女共修<br>【知識・技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するための多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に達した泳法の効率を高め泳ぐことができるようにする。ア クロールでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。イ 平泳ぎでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。 | 水泳<br>・クロール・平泳ぎ<br>・背泳ぎ・バタフライ<br>・時間泳<br>・救命の方法(着衣泳等)<br>・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 クロールでは、水面上の顔は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ向くことができる。泳ぎの速さに応じて、顔を横に向けた大きな息を調節して呼吸動作を行うことができる。平泳ぎでは肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの振り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動き（ストローク）で大きく進むことができる。<br>【思考・判断・表現】 選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。<br>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこができる。 | ○ | ○ | ○ | 4        |
|             | 男女共修<br>【知識・技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するための多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に達した泳法の効率を高め泳ぐことができるようにする。ア クロールでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。イ 平泳ぎでは、手足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること、体づくりに主体的に取り組むことができるようにする。 | 水泳<br>・クロール・平泳ぎ<br>・背泳ぎ・バタフライ<br>・時間泳<br>・救命の方法(着衣泳等)<br>・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 クロールでは、水面上の顔は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ向くことができる。泳ぎの速さに応じて、顔を横に向けた大きな息を調節して呼吸動作を行うことができる。平泳ぎでは肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの振り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動き（ストローク）で大きく進むことができる。<br>【思考・判断・表現】 選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。<br>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこができる。 | ○ | ○ | ○ | 2        |

[illegible]